進学通信

ステップゼミナールだより

ホップ・ステップ

3 March

第173
2021年3月1日発行

3月です、入試まであと2日！

昨年の2月からずーっとコロナ禍の影響を受け、あっという間に1年が経ちました。

高校入試まで、あと2日、受験生は今までやってきたことが発揮できるように落ち着いて試験を受けて下さい。

21年度は大きく社会が変化します。中学校も新指導要領になり内容も大きく変わります。小・中学校のタブレットの導入も始まります。

おそらく学力差はさらに広がります。目標を持って常に努力すること、努力の積み重ねが結果に結びつくのですから。

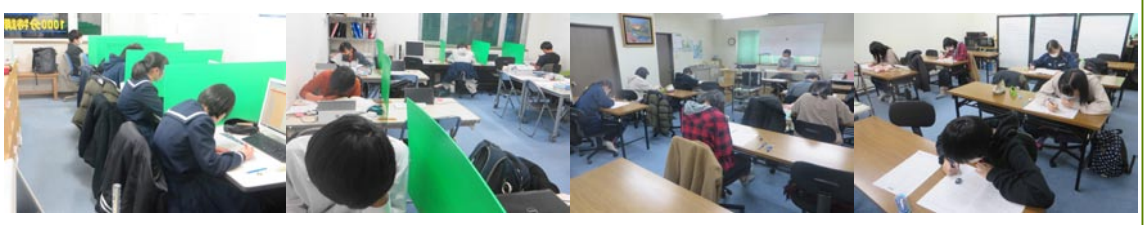
そしてこれからの社会で求められるのは、学力だけではありません。多様な価値観、多様な感性、個性です。

しかし、個性と社会性とは相反するものなので、そのバランスをとるのはとても難しいと思います。

日頃から自己責任を意識し、自分の考えや意見を持ち、表現できるようにならなければなりません。

必要なのは「積み重ねる」努力です、皆さん！

授業の様子



中学生も高校生も期末テストに向けてテスト勉強です　　全国の過去の入試問題に取り組む受験生

1/18からほぼ毎日3時間、みんな力をつけました！　　2/27中3生の授業が終わりました。頑張りました！

十六茶
2ℓ

差入ありがとうございました！

国立島根大学の教育学部に合格した27期生の田中花音さん。努力して自分の夢を叶えました。みんなも夢に向かって頑張りましょう。

6時に塾で晩ごはん、それから9時まで勉強でした！

2020年度

過去最少タイの人数だった30期生と記念写真を！

下着や髪形『ブラック校則』過度な制限、見直し求める

合理的な理由がない指導や決まりで子どもを縛る「ブラック校則」について、福岡県弁護士会は22日、福岡市立中学校などを対象に調査してまとめた報告書と意見書を市教育委員会に提出した。多くの学校で過度な制限が見られたとして、生徒の声を反映した校則に見直すよう求めた。

県弁護士会は昨年、市に情報公開請求。市立中学校の69校と特別支援学校2校の生徒手帳や校則などが記された文書が開示された。

それをもとにまとめた報告書によると、市立中の57校で下着の色や柄に関する校則があった。違反した場合は「脱がせるよう指示する」「脱がせた後に保護者に連絡する」という指導を定めた学校もあった。

髪形については62校、標準服は全ての学校で校則があった。市内の中学生に行った聞き取り調査では「校則について意見すると『内申に響くぞ』と言われる」「校則のせいで学校に行くことがストレス」など精神的な苦痛を訴える子もいた。

校則に関するプロジェクトチーム座長の佐川民弁護士はこの日の記者会見で「明らかに行きすぎな校則があり、生徒の声を反映し、一緒に見直しを進めてほしい」と訴えた。市教委は取材に「すでに見直しを進めている学校もあるが、合理的な説明がつかない校則が残っている場合は改善するよう指導していきたい」としている。（横川結香）

朝日新聞デジタル03年2月23日

札幌進学の塾だよりの入江塾長の文から二つ

＊私立高校倍率

中学では、私立高校入試における競争倍率について、きちんと説明をしていないと思われる。

今回の入試でも、北海や光星など入試倍率が5倍を超える学校が5、6校あった。詳しく知らない生徒にとってみれば大変なことであろう。トキドキものだ。

しかし結果としてはほぼ全入なのである。北海道公立高校（ほとんどの生徒が公立高校を第1志望とする）の平均倍率が札幌地区でも、1・2倍程度であり、多くの生徒が、2校受けるだろうから、私立としては受験者全員を合格させても、定員だけ生徒が入学することは少ないことになる。

もちろん、光星のステラなどにみられるように、一番上位のクラスについては不合格もあるが、それでも下位のコースで転科合格というのが普通だから、出願校が不合格という例は極めて少ないのだ。この辺りを、中学校はきちんと指導しなければならない。（釧路高専も同じような状態で、定員割れ）

＊言葉の力

現在の菅首相の内閣は歴史的に見て、支持率がたいそう低いものになっている。新型コロナ禍の状況もあるだろうが、大きな原因の一つと言われているのが、首相の言葉の力のなさである。

力強さとともに皆を納得させうる簡潔で論理的な、そして明快な言葉が全くない。国民の間に支持が広まらないのもうなずける。

それに対して、テニスの全豪オープンで優勝した大坂なおみ選手の言葉は素晴らしい。ジョークはウイットに富み、周辺に対する感謝の気持ちも十二分に伝わるコメントも多い。超一流の選手に成長した証が言葉のそこかしこに感じられる。多くの人間を感動させる力を感じる。

生徒児童諸君や保護者の皆様に語ることの多い身としては、というか語ることが仕事である身としては、この二人の言葉の在り方は実に学ぶことが多い。

まだまだ勉強しなければならないと感じさせられている。

ひどすぎますね、日本の政治家や官僚の日本語能力も発言の内容も、そしてその無責任差さがです。

社会人として必要なのは学力ではなく、人間力、コミュニケーション能力と誠実さですよ！

ステップゼミナールでは、中学2・3年生の新学期は3月スタートです。それは入試が3月の初めなので中3生の1年が12ヶ月ないからです。

21年度は中学校も新指導要領がスタートします。まだ教科書を見ていませんが、高校の内容が入ってくるなど大幅な変更があります。そして入試が各教科60点満点から100点満点に変更になります。

すでに道コンでは100点満点を実施していますが、得点がしずらく、全道の平均点も低いのが目立ちます。

記述問題や完全解答など、日頃の勉強をしっかりやっていないと得点に結びつきません。何よりも大事なのは、どの教科にも読解力が必要なことです。

4月の進級に向けては、今までのままでは通用しないことをしっかり意識して臨むことです！

■3月の予定■

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
高校卒業式	鳥取定期（～3）	◆公立高校入試◆ 付属・景雲（～4）定期				休塾	高校スタートダッシュ開始（8回）						休塾	中学校卒業式	◆合格発表◆			小学校卒業式		休塾							休塾			

ガンバレ!!
受験生!!!

公立高校入試まで あと2日

コロナの感染が広まっています。
マスク、手洗い、消毒を！

ストップ 過保護・過干渉！

在籍する生徒の所属校
小学校　昭和・愛国
中学校　美原・景雲・鳥取・鳥取西・附属・富原
高　校　湖陵・江南・北陽・東・高専

発行：ステップゼミナール　088-0617　釧路町北都２－２－１　（TEL）0154-36-4170　HP　http://stepsemi.com/　Mail：stepsemi@gmail.com

人生のとき　闇の向こうの光に　女優　サヘル・ローズさん

散歩で通りかかった人からすてきなバラ園だと言われるのが、とてもうれしい」と話すサヘル・ローズ。バラ園はフローラや近所の人と造った

出会いは偶然だった。「私たちをもらってくれませんか」。イラン政府は１９９０年代、テレビで孤児たちの養子縁組を募集していた。８０年に始まったイラクとの戦争は８年後に停戦合意。しかし戦禍の傷痕は深く、多くの幼子が親を失った。

たまたまテレビを見た大学生フローラ・ジャスミンの目は孤児院の少女にくぎ付けに。「小柄でかわいい。会ってみよう」。後の女優サヘル・ローズだった。

大学で心理学を専攻していたフローラは、医師や看護師らと戦場で救出活動ボランティアの経験があった。フローラと面会した７歳のサヘルは無邪気に「お母さん」と呼ぶ。「見つめられ、その『視線』から自分が生まれたような感覚」とサヘルは振り返る。面会を重ねた後、フローラはサヘルに語りかけた。「私の子どもになる？」

フローラの両親は当初反対した。イランで養子縁組するには子どもを産めないようにする手術が必要になる。「そこまでして、どうして私を」。サヘルの疑問が氷解したのは大人になってからだった。

フローラは幼い時に育児放棄され、祖母に育てられた。サヘルは言う。「一番大切な時に親の愛情を受けていない。自分の境遇と重ね、私に孤独を味わわせたくなかったのでしょう」

サヘルを養子にしたフローラは家庭教師のアルバイトで生計を立てていた。だが生活は苦しく、頼みの綱は日本で働く夫。９３年８月、２人は混迷深まる国から日本へ旅立った。

新天地の生活もいばらの道に。３人は埼玉県のアパートで暮らしたが、次第に関係がぎくしゃくしてしまう。来日から３週間後の夜、フローラとサヘルは家出した。頼れる人はいない。向かった先は公園だった。滑り台下のコンクリート製土管が「寝室」。サヘルは朝、公園の水道で顔を洗ってから小学校へ。フローラは来日後から働き始めた化粧品瓶製造工場に出掛けた。

夕方に公園で待ち合わせし、近くのスーパーに行く。賞味期限間近のパンの耳を買って空腹をしのいだ。学校側も異変に気づく。毎日、同じ洋服。どんどん汚れる。ある日、サヘルは校門で「給食のおばちゃん」に「大丈夫？」と声を掛けられた。フローラと一緒におばちゃんの家に一時、身を寄せる。２週間のホームレス生活は終わった。

その後、フローラは離婚。仕事を変え、２人はアパートを転々とした。唯一の楽しみはスーパーのフードコートで、しょうゆラーメンを食べること。注文は１杯だけ。フローラは一口だけ食べると「後は食べて。お母さんのおなかは小さいから」とサヘルに勧めた。彼女の習い事や学費を賄うため、食費を切り詰めていた。

サヘルは凛（りん）としたフローラの行動に、いつも驚かされた。おにぎりを路上生活者に手渡したこともある。「私は今、我慢すれば明日は食べることができる。この人は明日も、あさっても我慢しなければならない」

サヘルは中学生の時、上履きを校舎の窓から捨てられるなどのいじめに遭う。悲観という袋小路に入り、自殺を考えた。フローラに打ち明けると「いいよ」と意外な返事。「でもお母さんも一緒に連れて行って。サヘルがいないと生きる意味がないから」。言葉の一つ一つがサヘルの心の琴線に触れた。

サヘルは戦争で人生が翻弄（ほんろう）された。一方で「フローラも私を養子にしなかったら、幸せな生活を送ったかもしれない」と呵責（かしゃく）の念にも襲われる。

そうしたサヘルの心のひだを見透かしたようにフローラはやさしく諭す。「あなたは生き延びたんだよ。世界で苦しむ子の希望の光になってほしいの」。迷い、悩み、不安に押しつぶされそうになる時、サヘルは「試練という名の遠足」と前を向くようになった。

高校在学中、ラジオのリポーターをきっかけに芸能界入り。女優の傍ら、虐待された子どもや、海外の貧しい子への支援を続ける。自分の体験を通して「闇の向こうには新しい景色が広がっている。自分で地図を描けることを子どもたちに伝えたい」と訴える。フローラからのバトンを引き継ぐかのように。

フローラと一緒に暮らすサヘルは約４年前、自宅近くの空き地を借りた。フローラや近所の人と小さなバラ園（約５０平方メートル）を造るためだ。毎年５月、バラの甘い香りが鼻腔（びこう）をくすぐる。

フローラが付けた「サヘル・ローズ」という名前。サヘルはサハラ砂漠乾燥地帯、ローズはバラの花を指す。バラは砂漠で育ちにくい。「困難でも力強く生きて」という願いが込められている。

血はつながっていなくても、数奇な運命の糸で結ばれた２人。「これからは私が支える番」。サヘルは病気がちなフローラを気遣った。（敬称略）

イラクで知った戦争の怖さ

２０１９年、サヘルはイラクを訪れた。フローラから「イラクを絶対に憎んでは駄目よ。あなたと同じような孤児がいるのだから」と言われていたからだ。

イラン攻撃の最前線にいたイラクの元兵士と会った。サヘルがイランの孤児だったと伝えると、元兵士は「戦いたくて戦ったわけではない。本当に許してほしい」と涙ぐんだ。

明日という日を迎えるために、武器を持ち、知らない人たちに銃を向けた元兵士の苦悩。「初めて戦争の怖さを知った」とサヘル。加害者と被害者。両者の心の傷を解かそうと、サヘルは橋渡しの役割を担おうとしている。

クロスロード　毎日新聞　2021 年 1 月 13 日

目撃！にっぽん 『日本一静かで 笑顔あふれるカフェ』

東京・国立に半年前、オープンしたカフェ。聴覚に障害があるスタッフたちが満面の笑顔で迎え、手話で接客する。訪れる人に元気をくれるカフェ、そのわけ、見てみませんか？ 東京･国立に半年前､オープンしたカフェ。人通りが多い駅前にあってにぎわっていても、店に入ってみると驚くほど静か。「いらっしゃいませ」の声もない。それは、聴覚に障害があるスタッフたちが手話で接客しているから。手話や筆談、時にはジェスチャーも交えて“会話”する。その笑顔あふれる接客に、常連さんも増えている。訪れる人が元気になれるカフェ､そのわけ､見てみませんか？

番組ディレクターから

今回の現場はそれぞれの人の“居場所”です。 誰しも自分にとって居心地のいい場所ってありますよね。私にとっては、場所というより 一生懸命働いて、その後、好きな音楽を聴いたりおいしい物を食べたりする時間でしょうか。 取材をした人たちの多くは、聴覚に障害があります。私自身は、疲労で耳鳴りが続いた経験はあっても普通に生活できています。その世界を完全に知ることはできませんが、理解しようと努力し、気がつくと、一生懸命表情や目を見て会話をしていました。番組の中にもその感覚を大事に、伝えようと努力したつもりです。主人公の女性店員は、家族とも、社会とも闘い続けている女性。学生の頃は今から想像もつかないぐらい、暗く沈んだ人だったそうです。それを、一歩ずつ、自分で壊してきた彼女は今が一番楽しくて、生きている感じがすると話しをしてくれたことが印象的でした。どんな人にも苦手なところや、人よりうまく出来ないと思っているところはあると思います。そのときに、ちょっとだけ、人の気持ちに寄り添ったり、少しだけ、待ってあげたりすることだったら出来るのではないか。そんな気持ちを掘り起こすきっかけになってほしいと思い、番組を作りました。 聴覚に障害があると言っても、状態は１０人いたら１０人違います。 もうひとりの主人公の男性店員は、難聴です。しかし６月に最初に会ったときから 自分は銀行をやめてきた。実は聴力も少しずつ悪くなっている。でもここで頑張りたいとはなしてくれた人でした。音楽が大好きな彼は寝る前に必ず音楽を聴くそうです。そんな当たり前の事がいつか出来なくなる、そういう不安とも闘いながら生きているということに、心だけは寄り添っていきたいと心に誓い日々現場に向かっていました。店に来る、多くの人の人生と店員とを交差させながら、日々生きていくということに愚直に向き合った番組です。 何か特別なことが起こるわけではありませんが、見て終わったあとに 少しだけ、優しい気持ちが心に芽生えていたら、うれしいです。コロナ禍ですが、人間の心は常に揺れ動いていて、不安定な世の中だからこそ 大事なものを見失わずに生きていきたい、私自身、取材を通じて強く感じました。

NHK「目撃！にっぽん」2021 年 2 月 14 日（日）

スターバックスコーヒー社員　リーダーの大塚絵梨さん
「いままでにない試みなので、ドキドキする反面、不安もあるんですが、みんなをひっぱっていけたらいいなと思います。」「障害を見るのではなく、その人の持っている力を見てほしい。障害者は福祉の対象とか弱者というイメージがあるけれど、それを変えていきたい。」